

山岳部女子 全国に挑む

松本深志高校山岳部の女子チームが、8月6日から10日まで鹿児島県の霧島連山で行われる全国高校総合体育大会登山大会に出場する。山岳部92年の歴史で「おそろく初めて」（OB会）という快挙で、出場する3年生4人は、多くの先輩の期待を背負って準備を整えている。（小岩井貴之）

松本深志高

片岡佐京さん（17）、中島しおりさん（17）、小川未真さん（17）、吾田歩美さん（17）が出場する。6月上旬に飯綱山で行われた県大会で優勝し、5県9校が出場して黒姫山で行われた北信越大会では、3位までの優秀校に選ばれ、全国大会の出場権を得た。全国大会では、3泊4日の日程

「初舞台」準備に余念なし

で高千穂峰（標高1574㍎）や韓国岳（標高1700㍎）を巡る。

終業式の23日には、山岳部OB5人が学校を訪れ、二木昭至OB会長（74）＝松本市西島＝が「楽しみながらいいので、深志高山岳部の名に恥じない活躍をしてほしい」と部員たちを激励した。チームリーダーを務める片岡さんは「長い部の歴史の中で、出場する機会に恵まれ光栄に思う。実力を出せるよう、しっかりと準備したい」と意気込みを語った。

山岳部女子チームの前身は、昭和36年に発足した女子山岳部までさかのぼる。当時、部を発足させた白井充子さん（67）

「本庄1」は「山に興味のある女性が登山できるよ」と始めた」と振り返り、「女子たちの活動が今も続いてうれしい。『山が好き』という気持ちを忘れずに、部活動に励んでほしい」と話していた。

.....

全国大会に挑む（右から）片岡さん、吾田さん、小川さん、中島さん

